

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

1 結核予防事業

令和元年の結核患者の新登録患者数は99(前年95)人、罹患率(人口10万対)は12.1(前年11.7)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は46.7(前年31.7)%と増加した。(表1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第18条に基づく就業制限通知が45(前年38)件、同法第19条及び第20条に基づく入院勧告が154(前年113)件、同法第37条の2に基づく医療費公費負担診査が235(前年188)件であった。(表1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS支援員の派遣、薬局DOTSの実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成19年4月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は2類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

2 感染症予防事業

令和元年は、感染症法に基づく1類・2類(結核は除く)感染症の発生はなく、3類感染症は36人(前年23人)、4類感染症は21人(前年21人)、5類感染症(全数把握対象分)の発生は346人(前年297人)であった。

8月に探知した腸管出血性大腸菌感染症O103事案は、管外の施設に通う学生で既に同様の症状を呈する者もいることが判明。早急に管内接触者に訪問、電話、郵送等で調査を実施した。土日も含め調査、検便を行い、130名に検便を実施し、管内の陽性者は初発も含め15名となったが、早期に対応したことにより、管内での感染拡大はなかった。

11月には、医療機関からボツリヌス症疑いの検査依頼があり、国立感染症研究所に検査依頼と並行して抗毒素血清の紹介を行い当日中に投与した。

令和2年1月には、新型コロナウイルス感染症の対応が始まった。武漢、チャーター便、クルーズ船関連から、帰国者、国内へと相談、調査、検査及び患者搬送が始まった。この間、当保健所では関係機関と情報交換会、帰国者接触者外来等協力医療機関向け説明会を開催した。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は26件(前年度23件)、相談対応件数は15件(前年度27件)であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生し、検便等疫学調査及び感染拡大防止について継続支援をした。(表2-(7)-オ)

平常時対策として、医療機関の立入検査、介護老人保健施設の実地指導の際等に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施した。また、医療機関を対象に研修会を開催し、オリンピック、パラリンピック開催に備えて、輸入感染症対策に関して周知徹底を図った。高齢者施設や乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図った。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成24年8月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、管内関係各機関と情報交換会を開催し連絡体制を確認し連携強化を図っている。

例年県では、疾病対策課主催の感染症患者移送に係る合同実地訓練を実施しているが、令和元年度は松戸市立総合医療センターにおいて新型インフルエンザの地域感染期のトリアージ、本部会議、病床コントロール等対応訓練を実施した。地域においては、診療所で地域感染期の訓練を実施するとともに、DVDにまとめ新型インフルエンザ等地域医療委員会・新型インフルエンザ等医療体制講演会を開催し、情報共有を図った。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制を確認し、全職員を対象に、防護服着脱訓練、N95 マスクフィットテストを実施した他、車いす型アイソレーター使用による感染症患者の移送訓練を行った。

3 エイズ対策事業

HIV検査は即日検査（日中）及び夜間検査で実施し、令和元年度は272件であった（表3-(3)）。同時に梅毒・クラミジア検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。

エイズ予防啓発事業としては、管内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の保健主事及び、養護教諭、保健体育教諭等を対象として、講習会を1回開催した。講習会は、「LGBTQや性の多様性について知る～子どもの声と学校でできること～」というテーマで、エイズ対策に関する啓発に努めた。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給し、被爆者の定期健康診断を年2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 11年	平成 16年	平成 21年	平成 26年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
区分								
管内人口		462,297	474,078	780,049	784,424	804,619	810,950	817,672
新登録患者数		137	115	142	94	91	95	99
年末時登録者数		265	245	378	256	251	247	237
結核死亡者数	管内	5	2	6	7	7	3	2
	千葉県	109	91	62	55	75	82	62
結核死亡率 (人口10万対)	管内	1.1	0.4	0.8	0.9	0.9	0.4	0.2
	千葉県	2.2	1.5	1.2	1.6	1.4	1.6	1.2
罹患率 (人口10万対)	管内	29.4	24.3	18.5	12.0	11.3	11.7	12.1
	千葉県	25.6	22.0	17.2	13.8	11.9	12.0	11.1
有病率 (人口10万対)	管内	30.7	19.0	11.5	7.6	7.2	6.7	8.7
	千葉県	28.2	18.9	11.9	8.8	7.4	7.7	6.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③平成19年以前のデータは、管轄区域：松戸市のみ。

④新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

⑤罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	活動性結核					（人口10万対）率	肺結核の割合（%）のうち	（潜在性結核感染症） 無症状病原体保有者	疑似症患者	結核死亡者	結核死亡疑い者	
		総数	活動性肺結核										肺活動性
			計	陽性	喀痰塗抹性	結核菌陽性							
平成29年		91	75	32	34	9	16	11.3	42.7	86	-	2	-
平成30年		95	73	23	32	18	22	11.7	31.7	67	-	-	-
令和元年		99	75	35	29	11	24	12.1	46.7	54	-	-	-
	(うち外国籍)	(14)	(12)	(3)	(6)	(3)	(2)	1.7	25.0	(12)	-	-	-
松戸市		62	47	21	19	7	15	12.6	44.7	31	-	-	-
流山市		22	18	10	7	1	4	11.3	55.6	18	-	-	-
我孫子市		15	10	4	3	3	5	11.4	40.0	5	-	-	-

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総数	活動性結核					不活動性結核	不明	（人口10万対）率	（別掲） （潜在性結核感染症） 無症状病原体保有者	
			計	活動性肺結核			肺活動性				治療中	観察中
				陽性	登録時	結核菌陽性						
平成29年		251	58	20	21	7	10	179	14	7.2	40	110
平成30年		247	43	14	15	14	11	183	10	6.7	38	111
令和元年		237	71	23	20	9	19	139	27	8.7	47	103
松戸市		153	51	15	16	6	14	81	21	10.4	33	69
流山市		53	10	5	2	1	2	40	3	5.2	13	20
我孫子市		31	10	3	2	2	3	18	3	7.6	1	14

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1- (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成29年		91	-	-	9	8	14	13	7	14	17	9
平成30年		95	-	-	11	8	3	13	11	19	18	12
令和元年		99	-	1	13	2	6	10	4	25	28	10
(うち外国籍)		(14)	(-)	(1)	(9)	(1)	(2)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
松戸市		62	-	-	12	2	4	6	4	15	16	3
流山市		22	-	-	-	-	-	3	-	6	9	4
我孫子市		15	-	1	1	-	2	1	-	4	3	3

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1- (5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成29年		251	-	1	26	21	39	31	29	41	48	15
平成30年		247	-	-	29	21	29	30	32	43	43	20
令和元年		237	-	1	29	18	20	32	24	44	52	17
松戸市		153	-	-	27	10	14	21	19	28	28	6
流山市		53	-	-	1	6	5	7	3	9	16	6
我孫子市		31	-	1	1	2	1	4	2	7	8	5

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	
				訪問 回数	左の内訳		訪問 面接	所内 面接	電話・ その他									薬 局
初 回	期 間 内	退 院 前																
平成29年	保健師	3	195	40	120	35	175	87	118	-	81	108	140	-	30	50	20	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	33	-	59	-	2	-	150	-	33	-	350	-
	薬局	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	65
平成30年	保健師	3	144	31	89	24	117	116	144	-	53	142	178	-	22	66	30	-
	DOTS 支援員	5	-	-	-	-	40	1	70	-	40	1	70	-	30	-	80	-
	薬局	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	71
令和元年	保健師	3	176	45	100	31	252	106	502	-	92	103	262	-	8	65	313	-
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	40	-	-	-	20	-	-	-	5	-	-	-
	薬局	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	4
令和元年 患者数 (人)			35						64				53					

※潜在性結核の患者数は、内服治療を希望しなかった登録者を除く

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位: 人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
平成29年	実施者数	95	77	35	72	
	患者数※	95	77	35	72	
平成30年	実施者数	81	71	20	85	
	患者数※	81	71	20	85	
令和元年	実施者数	95	80	43	53	
	患者数※	95	80	43	53	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供) を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エックス線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	118	116	98.3	212	83	2	127	-	-	99	3	12	2	1.7
平成 30 年	75	72	96.0	129	56	-	73	-	-	69	-	2	1	1.4
令和 元年	117	113	96.6	196	132	5	55	2	2	104	0	7	2	1.8
保健所	/			79	58	-	21	-	-	/				
委託分				113	74	5	30	2	2					
その他				4	-	-	4	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エックス線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	962	933	97.0	1,239	787	66	372	8	6	877	12	44	-	-
平成 30 年	485	459	94.6	668	348	7	313	-	-	425	5	29	-	-
令和 元年	733	661	90.2	916	562	12	342	-	-	632	6	21	2	0.3
保健所	/			323	180	-	143	-	-	/				
委託分				532	380	12	143	-	-					
その他				61	2	-	56	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施 率 ②/① (%)	実施 件数 (延件数)	エ ッ ク ス 線 撮 影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗 抹	培 養	観 察 不 要	経 過 観 察	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
平成 29 年	300	283	94.3	449	435	7	7	274	7	2	0.7
平成 30 年	335	311	92.8	549	484	33	32	285	21	5	1.6
令和 元年	345	297	86.1	521	463	29	29	270	27	0	0.0
保 健 所	/			95	95	-	-	/			
委 託 分				242	184	29	29				
そ の 他				184	184	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族			問	格	不 合 格	問	格	不 合 格	問	格	不 合 格	問	格	不 合 格
	問	格	不 合 格	問	格	不 合 格	問	格	不 合 格												
平成 29 年	227	226	1	82	82	-	11	11	-	54	54	-	67	66	1	12	12	-	1	1	-
平成 30 年	188	188	-	57	57	-	8	8	-	49	49	-	62	62	-	11	11	-	1	1	-
令和 元年	235	233	2	69	67	2	15	15	-	51	51	-	85	85	-	14	14	-	1	1	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総 数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成 29 年	45	9	1		10	21	3	1
平成 30 年	38	5	1		6	18	7	1
令和 元年	52	10	-		8	29	5	-

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年 \ 区分	総数
平成29年	46
平成30年	38
令和元年	45

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

年 \ 区分	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成29年	44	43	72
平成30年	35	33	45
令和元年	44	43	67

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

年 \ 区分	入院措置数
平成29年	—
平成30年	—
令和元年	—

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成29年	-	67	29	38	-	67	-	-
平成30年	-	7	7	-	-	7	-	-
令和元年	-	17	17	-	-	17	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成29年	487	380	763	51	52	1
平成30年	238	164	354	12	35	1
令和元年	238	454	629	9	53	1

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成29年	342	219	240	174	102	45
平成30年	284	246	179	151	105	95
令和元年	259	357	164	173	95	184

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目		対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
	平成29年			251,988	86,564	34.4	8,982	77,582	13	5	4
平成30年			253,222	85,226	33.7	7,017	78,209	20	3	1	0.001
令和元年			257,121	87,393	34.0	5,983	81,410	15	2	2	0.002
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		11,680	11,602	99.3	1,865	9,737	3	-	2	0.017
	施設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)	3,700	3,584	96.9	915	2,669	-	-	-	-
		その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者		28,886	27,312	94.6	3,203	24,109	12	-	-	-
	市町村長		212,855	44,895	21.1	-	44,895	-	2	-	-

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成29年	36	—	—	36	—	—
平成30年	23	—	2	20	1	—
令和元年	36	—	—	36	—	—
松戸市	14	—	—	14	—	—
流山市	9	—	—	9	—	—
我孫子市	10	—	—	10	—	—
その他 (管外)	3	—	—	3	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名	平成29年	平成30年	令和元年
1 E型肝炎	-	2	3
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	-	1	1
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	-	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	-	-	-
22 デング熱	1	-	2
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	-	-	-
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	1
36 マラリア	1	-	-
37 野兎病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	4	18	14
43 レプトスピラ症	-	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 29 年	平成 30 年	令和元年
1	アメーバ赤痢	8	12	7
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	2
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	6	7
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		2	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	18	27	25
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	-	-
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	4	5
9	後天性免疫不全症候群	13	20	8
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	4	3
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1
13	侵襲性肺炎球菌感染症	20	26	24
14	水痘(入院例に限る。)	2	5	4
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	18	27	30
17	播種性クリプトコックス症	2	1	-
18	破傷風	1	-	1
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
21	百日咳		73	206
22	風しん	1	71	23
23	麻しん	-	19	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月1日より届出の対象となった。

※21の疾患は平成30年1月1日より届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
25	16	5	6	1	43

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	11,559	12,148	13,143
2	RS ウイルス感染症	731	445	562
3	咽頭結膜熱	441	605	262
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,165	2,900	3,222
5	感染性胃腸炎	4,627	3,617	4,597
6	水痘	273	368	354
7	手足口病	1,521	451	2,646
8	伝染性紅斑	36	490	489
9	突発性発しん	419	378	374
10	百日咳	3	報告対象外	報告対象外
11	ヘルパンギーナ	388	557	416
12	流行性耳下腺炎	138	72	45
13	急性出血性結膜炎	3	3	0
14	流行性角結膜炎	138	156	63
15	性器クラミジア感染症	142	139	113
16	性器ヘルペスウイルス感染症	101	68	80
17	尖圭コンジローマ	23	36	24
18	淋菌感染症	35	19	24
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	9	1	8
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	4	2	5
22	マイコプラズマ肺炎	17	17	84
23	無菌性髄膜炎	4	11	2
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	5	0
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	34	51	71
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

※「10 百日咳」は5類感染症の定点把握疾患であったが、平成30年1月1日から5類の全数把握疾患となったため、平成30年及び令和元年は「報告対象外」と記載した。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	1	-	1
検体提供数 (件)	25	6	-	5

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 29 年度	122	4,579	486	25	4	-
平成 30 年度	189	2,932	162	27	-	-
令和元年度	171	2,450	152	17	2	-
幼 稚 園	11	265	6	3	2	-
小 学 校	143	1,954	130	13	-	-
中 学 校	14	161	13	1	-	-
高等学校	3	70	3	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成29年度	44	213	-	-	2	36	42	177	-	-	-	-	36
平成30年度	23	115	-	-	-	-	22	109	1	6	-	-	18
令和元年度	38	161	-	-	-	-	37	159	1	2	-	-	19

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和元年度	E型肝炎	4
	A型肝炎	1
	レジオネラ症	14
	ボツリヌス症	1
	デング熱	4

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症健康調査状況

(単位：件)

区分	疾患名	調査
令和元年度	侵襲性髄膜炎菌感染症	調査1
	感染性胃腸炎	調査26・相談対応15
	インフルエンザ	相談対応51
	麻疹	調査1(後日取り下げ) 接触者調査依頼6
	風疹	調査9 接触者調査依頼1

カ 指定感染症

表2-(7)-カ 指定感染症健康調査状況

(単位：件)

区分	疾患名	調査
令和元年度	新型コロナウイルス感染症	調査22

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成29年度	4	4	-	-	2				
平成30年度	5	5	-	-	10	-	-	-	-
令和元年度	4	4	-	-	131	-	-	-	12

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	依頼数	内 訳
		麻しん風しん疑い	56
	ボツリヌス症	1	
	E型肝炎	2	陰性 2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	
	ジフテリア	1	陰性 1
	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症	6	メロペネム感性検査実施および、 カルバペネマーゼ遺伝子検査実施
	急性脳炎	20	陽性 12、陰性 8

(10) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2-(10)-ア 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾 患 名				計
	細菌性赤痢	腸管出血性大 腸菌感染症	腸チフス	新型コロナウイルス 感染症	
平成29年度	2	38	-	-	40
平成30年度	-	22	1	-	23
令和元年度	-	38	1	26	65

表 2 - (1 0) - イ 入院勧告通知数

(単位：件)

区分 年度	疾患名	計
	新型コロナウイルス感染症	
平成 29 年度	-	-
平成 30 年度	-	-
令和元年度	13	13

(1 1) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表 2 - (1 1) - ア 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施 対象	参加人数 (人)
令和元年 6月20日	東葛飾 合同庁舎 6階第1 会議室	<u>医科歯科医療機関における感染症対策研修会</u> 報告 「千葉県内におけるレジオネラ症の 発生状況について」 報告者 疾病対策課 日野浦 技師 講演「わかりやすいレジオネラ症の話 ：気になる感染症～レジオネラ症～」 講師 国立感染症研究所 倉 教授	医科歯科医療 機関、高齢者施 設、保育所、行 政	72
令和元年 8月26日	東葛飾 合同庁舎 6階第1 会議室	<u>感染症予防対策研修会（保育施設）</u> 講義「管内感染症発生状況と感染症のキホン」 講師 松戸保健所 疾病対策課 植村 技師 (1) 活動報告 「流山市保育所感染制御チーム (N-NICT) の活動報告について」 (2) 演習 「私たちが守ろう！ ～オムツ交換・嘔吐処理～」 おむつ交換、嘔吐処理についてグループに分かれ て演習実施。 講師 流山市感染制御チームN-NICT	管内保育所・小 規模保育事業 所・認可外保育 所・認定こども 園・幼稚園・障 害児通園施設 等の職員 (看護師・保健 師)、市担当職 員等	99

令和元年 9月2日	東葛飾 合同庁舎 6階第1 会議室	<u>感染症予防対策研修会（高齢者施設）</u> (1) 報告 「管内の感染症発生状況」 報告者：松戸保健所疾病対策課感染症担当 (2) 「認知症と感染対策」 講師 東松戸病院 認知症認定看護師 川崎 智恵 氏	管内高齢者福祉施設等の職員（通所介護事業所・通所リハビリ事業所・短期入所生活介護事業所・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・小規模多機能型居宅介護事業所、グループホーム・有料老人ホーム等） 市担当職員	57
平成31年 4月17日	松戸市役所 別館 地下1階 研修室	<u>感染症対策からみたオリンピック代表チームの受け入れで 注意すべきことについて</u> 1 ルーマニア陸上チーム松戸市の受け入れについて 松戸市東京オリンピック・パラリンピック推進課長 伊東氏 2 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての感染症のリスク評価～自治体向けの手順書～」 について 松戸健康福祉センター 新センター長 3 生活衛生課職員の紹介	松戸市役所 東京オリンピック・パラリンピック推進課 健康福祉政策課 松戸保健所	13
令和元年 5月23日	松戸市役所 別館 地下1階 研修室	<u>第1回 感染症対策委員会（松戸市）※</u> (1) 「国際的なマスギャザリング・イベントにおける 松戸保健所管内の感染症発生リスクを考える」 松戸健康福祉センター 新センター長 (2) 市の感染症発生状況について (3) 風しんの追加対策に係る市の取り組みについて (4) 公共施設の感染対策について (5) 情報交換	松戸市感染症 対策委員会	40
令和元年 7月31日	松戸市民 劇場ホール	<u>給食施設衛生研修会※</u> 講義 「給食従事者の健康管理について」	給食施設管 理者・従事者	210

※は、他機関または他課主催

イ 流山市保育課は、流山市内の保育所における感染対策のレベルアップを目的とする流山市保育所感染対策事業の一環として、「N-N I C T（流山市保育所感染制御チーム）」を平成 29 年 10 月 5 日に立ち上げた。保健所としては、N-N I C T 立ち上げに際し、研修会を実施し、感染対策に関する助言・指導を行った。立ち上げ後には、感染症マニュアル作成の手引きの改訂に伴う助言等を行い、流山市内の保育施設の感染対策の向上に向け支援している。

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査 37（病院 33、有床診療所 3 施設、助産所 1）施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設 4 施設に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行った。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

オ 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸健康福祉センター（松戸保健所）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成 24 年 8 月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月 1 回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は 125 件であったが、周知啓発により令和元年度末には 710 件の登録となった。令和元年度の感染症情報配信は、定期配信 12 回、臨時配信は 62 回（表 2-(11)-イ）であった。

表 2-(11)-イ 感染症情報 臨時配信状況

配信日	内容
平成 31 年 4 月 4 日	4月3日、インフルエンザ警報解除
平成 31 年 4 月 9 日	麻しん患者の発生について（2件）
平成 31 年 4 月 15 日	麻しんの発生について、感染性胃腸炎の発生について
平成 31 年 4 月 17 日	千葉県麻しん報道発表 ゴールデンウィークの海外渡航者に対する感染症予防啓発
平成 31 年 4 月 22 日	大網白里市 麻しん報道発表
平成 31 年 4 月 26 日	印旛保健所管内において、新たに麻しん患者が発生

令和元年 5 月 1 日	1) 習志野市 麻しん報道発表 2) 成田市 麻しん報道発表
令和元年 5 月 3 日	1) 柏市、浦安市 麻しん報道発表 2) 腸管出血性大腸菌感染症 (O157) 報道発表
令和元年 5 月 13 日	習志野保健所管内 (八千代市) における麻しん患者の発生
令和元年 5 月 14 日	市原保健所管内における麻しん患者の発生について
令和元年 5 月 15 日	印旛保健所管内において、新たに麻しん患者が発生
令和元年 5 月 29 日	① 市川保健所管内において、新たに麻しん患者が発生 ② 千葉市保健所管内において、麻しん患者が発生 医科・歯科医療機関における感染対策研修会参加申し込み受付
令和元年 7 月 18 日	昨年 8 月からコンゴ民主共和国で発生している EVD に関し、 日本時間 7 月 18 日、WHO が PHEIC を宣言
令和元年 9 月 20 日	市川保健所管内において、麻しん患者発生
令和元年 9 月 30 日	船橋市保健所管内において、麻しん患者が発生。9 月 27 日、船橋市より、報道発表あり
令和元年 10 月 3 日	松戸保健所管内において、麻しん患者が発生
令和元年 10 月 9 日	麻しん発生届取り下げ
令和元年 10 月 17 日	東京都内において、海外渡航歴がないデング熱患者が 2 名発生
令和元年 11 月 20 日	松戸保健所管内において、11 月 19 日に侵襲性髄膜炎菌感染症発生届出あり 侵襲性髄膜炎菌感染症の発生 について事務連絡の通知のお知らせ 医療機関 における薬剤耐性アシネトバクター感染症等の院内感染対策の徹底について事務連絡の通知のお知らせ
令和元年 11 月 21 日	千葉県インフルエンザの流行シーズン入り
令和元年 12 月 6 日	松戸保健所管内医療機関よりボツリヌス症発生届出あり
令和元年 12 月 18 日	千葉県「インフルエンザ注意報」を発令
令和 2 年 1 月 7 日	中華人民共和国湖北省武漢市における非定型肺炎の集団発生に係る注意喚起について
令和 2 年 1 月 16 日	中華人民共和国湖北省武漢市における非定型肺炎の集団発生について
令和 2 年 1 月 20 日	中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の集団発生について
令和 2 年 1 月 23 日	中国における新型コロナウイルスの発生について 研修会のお知らせ
令和 2 年 1 月 24 日	中国における新型コロナウイルスについて
令和 2 年 1 月 28 日	新型コロナウイルス感染症について
令和 2 年 1 月 29 日	新型コロナウイルス感染症について
令和 2 年 1 月 30 日	新型コロナウイルス感染症について

令和2年1月31日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月1日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月3日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月4日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月5日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月6日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月10日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月12日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月13日	薬剤耐性研修会開催のお知らせ 新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月14日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月17日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月19日	【延期】医療機関における感染対策研修会について 新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月20日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月23日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年2月27日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月3日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月5日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月7日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月10日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月11日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月12日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月13日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月16日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月18日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月22日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月24日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月25日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月26日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月27日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月30日	新型コロナウイルス感染症について
令和2年3月31日	新型コロナウイルス感染症について

(12) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表2-(12)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
令和元年9月5日	I部 37機関 47名 II部 80機関 85名	<u>I部 会議</u> 議題 医療機関における県内感染期の対応 (1) 新型インフルエンザ等発生時の医療提供体制について 松戸健康福祉センター 新 玲子 センター長 (2) 新型インフルエンザ等訓練報告 松戸健康福祉センター 疾病対策課 岸 主査 (3) 松戸市立総合医療センターにおける 新型インフルエンザ等対応訓練予定 千葉県庁健康福祉部健康福祉政策課 篠原 主査 <u>II部 講演会</u> 『輸入感染症リスクへの対応 ～輸入感染症を見逃さないために～』 講師 がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科 臨床検査科 院内感染対策室長 関 紀貴 先生

イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
令和元年6月11日	7機関 35名	令和元年度感染症に関する情報交換会(市・消防・警察・保健所) (1) 訓練 1) 防護服着脱訓練 2) 患者移送訓練 ・移送前のミーティング ・防疫車への患者乗降 ・移送中の連絡 ・防疫車(運転席)の視界確認 ・消毒 (2) 意見交換
令和元年7月31日	7機関 27名	令和元年度新型インフルエンザ等対応訓練 (山口内科クリニック) 県内発生期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会
令和元年11月14日	52機関 84名	令和元年度新型インフルエンザ等対応訓練 (松戸市立総合医療センター病院) 県内発生期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会

ウ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表 2-(12)-ウ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
令和元年 4月9日 4月11日 4月12日	松戸保健所 会議室	感染症についての講話 AED 操作 N95 マスクのフィットテスト 防護服等着脱訓練	73
令和元年6月11日	東葛飾合同 庁舎駐車場	エボラ出血熱患者移送訓練 (車いす型アイソレーター使用による 感染症患者の移送訓練)	35

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和元年8月19日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	講習会	1 報告 「松戸健康福祉センター管内の H I V・性感染症の発生状況に ついて」 報告者：松戸健康福祉センター 疾病対策課 エイズ担当 2 講演 「L G B T Qや性の多様性 について知る～子ども の声と学校でできること～」 講師：上智大学文学部 非常勤講師、公立小 学校 非常勤講師、 自治体相談員 鈴木 茂義 氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の保健 主事・養護教 諭・保健体育 教諭、各市保 健師、助産師 等	33

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和元年 12月6日～ 12月27日	啓発のため、エイズ・STD 予防啓発グッズ等を配布 【配布物】 HIV 検査啓発ポケットティッシュ (1,500 個) パンフレット「みんな知ってる? STI」(1,077 部) ストップエイズ啓発「チーバくんふせん」(1,077 個) 【配布先】 新京成線松戸駅・八柱駅 流鉄流山線沿線全 6 駅 北総線東松戸駅 我孫子市公立中学校

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況

(単位 : 件)

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
平成 29 年度		電話相談	17	11	28	31
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	
平成 30 年度		電話相談	32	20	52	72
		来所相談	14	6	20	
		その他	0	0	0	
令和元年度		電話相談	27	40	67	124
		来所相談	32	25	57	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級	性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数	
	男	女				
平成29年度	264	133	397	9	3	
平成30年度	229	98	327	6	7	
令和元年度	173	99	272	3	0	
年齢 階級	～19歳	2	2	4	0	0
	20歳～29歳	55	54	109	3	0
	30歳～39歳	49	18	67	0	0
	40歳～49歳	31	19	50	0	0
	50歳～59歳	23	4	27	0	0
	60歳～69歳	11	1	12	0	0
	70歳～	2	1	3	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成29年度	306	216	90	392	261	131	388	256	132	391	259	132
平成30年度	278	201	77	329	230	99	334	234	100	334	234	100
令和元年度	241	154	87	269	171	98	274	175	99	273	174	99

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査, それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成29年度		314	-	5	2	17	300
平成30年度		300	-	5	4	10	291
令和元年度		291	-	2	2	20	271
松戸市		174	-	2	2	11	163
流山市		70	-	-	-	3	67
我孫子市		47	-	-	-	6	41

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成29年度	保健所	前期	310	27	8.7	0
		後期	294	18	6.1	0
	委託医療機関		-	100	-	48
平成30年度	保健所	前期	304	21	6.9	2
		後期	295	13	4.4	0
	委託医療機関		-	103	-	51
令和元年度	保健所	前期	290	15	5.2	1
		後期	285	14	4.9	0
	委託医療機関		-	76	-	51

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総 数	266	252	238
医 療 特 別 手 当	12	12	11
特 別 手 当	7	7	7
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	213	207	191
保 健 手 当	16	15	13
介 護 手 当	3	2	2
葬 祭 料	15	9	14
健 康 手 当	232	226	209

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。